



最賃・公務員賃金の引き上げで 格差と貧困の解消を!

この夏、大阪自治労連は全国の仲間と最低賃金や公務員賃金の大幅引き上げなどの制度的賃金闘争を取り組んでいます。同時に、「全ての労働者の賃上げと雇用の安定でこそ景気回復」の世論を広げ、地域活性化運動をすすめています。

大阪自治労連は夏から秋のたたかいで、格差と貧困をなくすため、賃金の底上げと安心して働き続けられる「働くルール」の確立に向けて取り組みをすすめていきます。



7月28日の最賃審議会に合わせ、大阪労働局前で100人の座り込みと要請行動が行われた

堺市職員労働組合 執行委員長

やまじ たかゆき
山道 崇之さん



7月26日の定期大会で「働きがいとやりがいのある職場、住民本位の市政をめざそう」と呼びかける山道委員長

4年前「堺はひとつ」「堺を壊さない」という市民の力と共同し、竹山市政の継続を勝ち取り、国保料の引き下げなどさまざまな施策の実現に全力をあげてきた堺市職労。市民の声を聞く当たり前の堺市政を継続していく決意を、堺市職労委員長の山道崇之さんに聞きました。



7月26日に労働者学習決起集会が開催された

が、「私たちの堺市を外から壊されたくない」という市民の願いが、選挙中に急速に強くなっていると感じました。選挙終盤に維新は「大阪都」になっても堺はすぐにはなくなりません」

4年前の「堺を守れ」の市民共同はすこかったですね

4年前の堺市長選挙は維新政治とのたたかいと共同において大きな前進を築きましたが、その原動力は、やはり「わが町堺を守りたい」という市民の願いだったと思います。負け知らずだった維新が「大阪都」を携えて市長選挙に臨みました。もちろん市民の中にもさまざまなお見方があったのですが、「私たちの堺市を外から壊されたくない」という市民の願いが、選挙中に急速に強くなっていると感じました。

竹山市政4年間で堺市はどうなりましたか

とアピールしたのも、その強い市民の願いを感じたからでしょう。この選挙をつくってくださったのは、府内・全国から駆けつけてくれたみなさんでした。毎日の市内宣伝で堺市民にはたらきかけたことが、市民の願いを強くしました。

私たちが全力で支援して2期目に入った竹山市政ですが、「住みよい堺市をつくる会」の要求や政策と一致しないこともあります。「つくる会」は、一致しないことに対しては声を上げ、国保料の引き下げを続けていることや、医療・子育て施策を充実させてきたことなど一致することは、「つくる会」の中で共有化をはかってきました。「つくる会」が竹山市政と市政要望懇談などを重ね、今年度には小学校3年生以上の少人数学級化がすすめられたことなどが

堺市職労の決意を聞かせてください

ら、竹山市政が分けて隔てなく市民の声を聞き、市政運営をしていることを感じています。また、竹山市長は乱暴に自治体を再編する「大阪都」反対の論陣では、大阪中の先頭に立っていると言っても過言ではありません。

9月24日の堺市長選挙に向けて維新は「大阪都は争点にしない」と言い張り、「竹山市政で堺は停滞」と攻撃しています。停滞と批判するならば、「大阪都」をこり押しするのために3年間で2度住民投票を行うことこそ、批判されるべきです。投票日に向けて選挙戦が過熱することになることが予想されます。

堺市職労は、市民の幸せと堺市の発展のために、大阪と全国の仲間とともに全力でたたかいます。どうぞよろしくお願ひします。

「自治都市堺」の発展を 市民共同の力で